

プログラム番号	07016
---------	-------

平成19年度「国費外国人留学生(研究留学生)の優先配置を行う特別プログラム」

【1. 大学の概要】

①大学名 研究科名	愛媛大学 大学院農学研究科		
②学長名	小松 正幸		
③所在地	〒790-8577 愛媛県松山市樋又10番13号		
④担当者 連絡先	所属部局・職名	国際交流センター事務課留学生交流チームリーダー	
	担当者氏名	篠崎 賢治	e-mailアドレス kokuryu@stu.ehime-u.ac.jp
	電話・FAX番号	電話：089-927-9157 FAX：089-927-8967	
⑤ホームページ URL	http://www.ehime-u.ac.jp/jyukuen/n_graduate/gr_gaiyou.html		
⑥大学院在学留学生数	167人（うち、国費留学生 106人）		

【2. プログラムの概略】

①プログラムの名称	環境調和型生物産業を支えるグローバルリーダー養成
②プログラムの形態	修士課程（2年間）＋博士課程（3年間）の一貫コース
③交流形態・受入体制	プログラム実施大学が複数
④実施研究科・専攻	農学 研究科 生物資源学 専攻
	（所在地）〒790-8566 松山市樽味3-5-7
⑤連携大学・研究科・専攻名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 香川大学大学院農学研究科（修士課程） <専攻名>生物資源生産学専攻，生物資源利用学専攻，希少糖科学専攻 ・ 高知大学大学院農学研究科（修士課程） <専攻名>暖地農学専攻，森林科学専攻，栽培漁業学専攻，生産環境工学専攻，生物資源科学専攻 ・ 愛媛大学大学院連合農学研究科（博士課程3年間） <専攻名>生物資源生産学専攻，生物資源利用学専攻，生物環境保全学専攻
⑥受入れ学生数	修士課程 13人（うち研究留学生優先配置人数：7人） （うち日本人学生数：0人）
⑦担当教員数	合計214人（うち専任：210人、兼任：2人、非常勤：2人）
⑧研究科長(代表者)名	所属部局・職名 愛媛大学大学院農学研究科・研究科長
	研究科長名 泉 英 二

【3. プログラムの内容】

1. プログラムの概要

本プログラムは、愛媛・香川・高知の3大学大学院農学研究科(修士課程)の2年間とそれに接続する愛媛大学大学院連合農学研究科(博士課程)の3年間を合わせた5年間の一貫教育プログラムである。修士課程では3大学の農学研究科がコンソーシアム体制により、豊富な教授陣および充実した留学生受け入れ体制の下、入学者選抜から修了認定まで一体的に教育を行う。その後進学する博士課程では、多様な科目メニューを用意することにより、特定分野における知識・技能だけでなく、関連する分野の基礎的素養の涵養を図り、学際的な分野への対応能力を含めた専門的知識を活用する能力を養うとともに、プロジェクトの企画・マネジメント能力を高めるカリキュラムを実施する。この5年間のプログラムにより、環境調和型生物産業に携わるグローバルリーダーを養成する。

2. プログラムの特色

【コンソーシアムの設置】

愛媛・香川・高知の3大学大学院農学研究科は、統一的理念の下に共同して留学生教育コンソーシアム四国(FC-SHIKOKU : Foreign student education Consortium SHIKOKU)を設置する。FC-SHIKOKUには運営委員会、教育推進委員会、評価委員会を設置する。運営委員会は、入学者選抜、学位授与までのプロセス管理、同窓会管理など、全体的な運用を行う。教育推進委員会では、共通科目の企画・実施、履修課程表の立案、授業評価の企画・実施等、教育システムの改善全般に関する事項を担当する。評価委員会は教育システムの評価を行う。これら3つの委員会の連携により、教育システムのPDCA(Plan:計画-Do:実行-Check:検証・評価-Action:改善)サイクルを機能させる。

【海外経験があり、充実した教授陣の活用】

3大学大学院農学研究科の教員は、FC-SHIKOKUの下に実質的に一つの大学に所属しているような体制となる。したがって、留学生は希望する指導教員の在籍する研究科に在籍しながら、FC-SHIKOKUの構成大学大学院の授業をどれでも履修出来ることが保証される。これにより、200名以上の教授陣で構成される授業メニューから、指導教員及び副指導教員と相談しながら、ひとりひとりの留学生のニーズにあった最適なカリキュラムを組み立てることが可能となる。

【手厚い学生支援】

留学生が順調に進学・修了できるように、来日前の準備教育、来日後は複数指導教員体制による丁寧な指導を行うとともに、充実したTA及びチューター制度を整備する。研究留学生一人につき一人の日本人学生チューターをつけ、手厚い支援を行う。

【実践的な教育課程】

産業界・地域マネージャー、農業指導者によるキャリア教育、各種生物産業での体験インターンシップを取り入れた実践・体験型プログラム(科目名:インターンシップ)、3大学のフィールドを体験するプログラム(科目名:フィールドスタディー)、地域社会との交流により、日本文化をよりよく理解するプログラム(科目名:日本事情・地域交流)など四国の地域的な特性を活かした実践的な授業を展開する。また、3大学合同で合宿型授業(サマーセミナー)を実施し、大学間の留学生の交流を促進する。

3. 教育・指導体制(論文指導等サポート体制)

【修士課程】

- (1) 指導教員は主指導教員と2名の副指導教員からなる。
- (2) コンソーシアム事務局の下、各大学に教育コーディネーター(2名)を配置し、教育カリキュラムの管理を行う。
- (3) 3大学の各研究科カリキュラムの相互乗り入れを行う。これにより、実質200名以上の教授陣の授業が受講可能となる。
- (4) 修士論文発表会は遠隔講義システムを利用して3大学合同で実施する。

【博士課程】

- (1) 指導教員は主指導教員と第1副指導教員(主指導教員の所属する大学の教員)および第2副指導教員(主指導教員の所属する大学以外の教員)からなる。
- (2) 主・副指導教員の他に教育研究コーディネーター制度を導入し、学位取得までの厳格なプロセス管理体制を充実する。
- (3) 博士論文の中間発表会は遠隔講義システムを用いて、公開審査会は一堂に会して合同で実施する。

4. 使用言語

授業及び研究指導は英語で行う。

5. 募集対象国, 学内選考方法等

- (1) 募集対象国: アジア・アフリカ・環太平洋諸国
- (2) 学内選考方法: 書類審査(志願票, 推薦書, 成績証明書, 研究計画書, 受け入れ予定教員との事前面接調書, その他の指定する書類)により行う。優れた学力(大学トップレベル)を有し, かつ英語能力の十分にある学生を受入れる。

環境調和型生物産業を支えるグローバルリーダー養成

